

2024年度 冬キャンプ

2024年度は、幼児ゆきんこキャンプとハチ高原わくわくスキーキャンプを実施しました。今年は、降雪量が多く雪がたくさんある中で雪あそびやスキーを行うことができました。

幼児ゆきんこキャンプは、2025年1月25日～26日の1泊2日でハチ高原スキー場で行いました。現地に到着すると、たくさん雪がありお友だちは目をキラキラと輝かせていました。雪遊びでは、グループごとに協力をして雪だるまを作りました。雪玉を10個ぐらい積み上げた雪だるまを作ったり、木の枝などを使って顔を作ったりと、各グループ個性あふれる雪だるまに仕上がっていました。また、そり滑りや雪合戦などをして奈良では味わうことのできない雪を思う存分楽しみました。夜はみんなで声を出したり、体を動かしたりしてゲームを楽しみました。

ハチ高原わくわくスキーキャンプは、2025年1月31日～2月2日の2泊3日でハチ高原スキー場で行いました。スキー講習では、初心者のお友だちは八の字で止まれるように、経験者のお友だちはブルークターンやパラレルターンができるように頑張りました。慣れないスキーに苦戦し、何度も転んでしまいましたが諦めずに挑戦する姿を見ることができました。最後にはワッペンテストを行い、2日間頑張った成果を発揮し、ここでしか味わえない達成感を感じることができました。夜はグループ対抗のゲーム大会を行いました。ボール運びリレーやクイズなどを行い、ゲーム

の順位やクイズの正解数に応じてポイントを付けて対決をしました。人間知恵の輪ではなかなか解けないグループに対して違うグループのお友だちがアドバイスするなどグループを超えて協力する姿が見られました。

どちらのキャンプも子どもたちの笑顔があふれ、充実した時間を過ごすことができました。また、ご家族と離れて生活をし、様々な面で成長した姿を見ることができました。

やまもと みさ
 体育野外事業部 山本 光彩



奈良YMCAの使命

奈良YMCAにつどう私たちは、日本YMCA基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいつくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、地域と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

2025年度 基本聖句

「わたしたちは見えるものではなく、
 見えないものに目を注ぎます。
 見えるものは過ぎ去りますが
 見えないものは永遠に存続するからです。」
 (コリントの信徒への手紙二 4章18節)

中日本スタッフ研修会を終えて

いしだ つかさ
スイミング・ウェルネス 石田 司

私は2025年1月27日(月)～28日(火)の2日間、岡山県倉敷市自然の家に中日本YMCAステップ1.5研修に行ってきました。参加していたのは日本YMCA同盟・和歌山YMCA・大阪YMCA・京都YMCA・神戸YMCA・せとうちYMCA・滋賀YMCA・名古屋YMCA、奈良YMCAでした。

初日の昼はグループを組み、自然の中の音や、みんなで話し合いながら自然の中の物を見つけるというネイチャー体験をしました。YMCAでのキャンプではみんなでひとつの物を作り上げるという大事さを教えながら、リーダーたちも子どもたちの成長を肌で感じ、人としての成長をいかに自然を通して学んでいくことが大切だということがわかりました。

夕方からは名古屋YMCA・神戸YMCA・滋賀YMCAの総主事からのパワーポイントを使用してお話があり、そこで私が特に感銘を受けたのは、キャンプとは生活の中でのゆとりを子どもに感じさせることであり、それがまわりまわって自然や命といった探求であったり出会いであるという言葉でした。

私は日常生活の中で、自然に出会う場面が減ってきていると思いました。駅があり、駐車場があり、ビルやマンションが建っている街並みが多いように感じます。そんな自然との関わり方やふれあいをキャンプを通して子どもたちに体験や経験をしてもらうとても良い機会を提供しているYMCAに感銘を受けました。

今までYMCAの研修会に参加したことがなく、行く前は正直不安なこともありましたが、YMCA同士の繋がり、初対面の人同士が同じ建物の中で生活をする、みんなで輪になって歌を歌ったり普段経験しないようなことを経験することができて、私自身が成長できるように今回の研修の意味を自分なりにしっかりと考え、日々精進したいと思います。

上地総主事をはじめ、奈良YMCAのスタッフの皆さま、参加させていただきありがとうございました。



奈良YMCA ピンクシャツデー

にしだ みゆき
体育野外事業部 西田 美幸



奈良YMCAでは2025年2月17日(月)～3月3日(月)をピンクシャツウィークとし、青少年センターやスイミング、あきしのこども園、ならこども園、西大寺南保育園の各部署、各クラスでピンクシャツデーの取り組みを行いました。青少年センターとスイミングではロビーにピンクTシャツがデザインされた紙を設置し、「お友だちの良い所を見つけて書こう！」や「もし、お友だちが悲しい思いや、辛い思いをしていたらあなたならどうする？」をテーマにし、子どもたちがそれぞれの思いを書き、いじめについて考えてもらえる時間としました。

幼児クラスでは、ピンクシャツデーにちなんだ”奈良YMCAオリジナル紙芝居”を作成し、幼児のお友だちにも分かりやすく伝えることができました。子どもたちからは「仲間外れにするのはダメだよー！」や「いじめることはよくないことだよね」、「みんな仲良くしないといけないんだよ」など優しく思いやりのあるたくさんの言葉が出てきました。

小学生のお友だちには、「もしそれぞれの場所で、自分たちが悩んでいることや困っていることがあればリーダーや先生、仲間やお父さん、お母さんに話してほしいな」「YMCAにはみんなの居場所がしっかりとあり、みんなの力になれるリーダーや仲間がたくさんいるよ」というお話しをしました。

奈良YMCAでのピンクシャツデーの取り組みや私たちの言動が、子どもたちや会員の方々の心に残り、それぞれ明るい未来へと繋がっていくことを願っています。

「みつかる、つながる、よくなっていく」



国際協力募金報告

2024年11月1日～2025年1月31日までの期間、全国のYMCAが一致協力して、国際協力募金キャンペーンを実施いたしました。奈良YMCAでも、貧困で苦しむ人への支援、子どもの教育支援、戦争や紛争で傷ついた人のケアなど世界に広がるネットワークを通して取り組みました。今年度は例年より更に会員の方々への周知を強めるために「国際協力募金ワールドマップ」を作成して館内に貼り出し、募金に協力してくださった方にスタートの日本から100の地図上のポイントにハートシールを貼って、世界と繋がることを視覚でわかるように工夫しました。子どもたちは、地図に興味を持ってくれ募金箱を持ってきてくれました。また、チャリティーイベントとしまして「チャリティースイミング」「チャリティーサッカー」を実施し、募金の理解を得ることと楽しく参加していただくことができました。

ならこども園ではチャリティー試食会と題して、保護者のお迎え時間帯の1時間30分、子どもたちがお店屋さんを行い、保護者にも呼びかけを行いました。日頃関わりの少ない乳児クラスの保護者にも呼びかけ、参加をしてもらえることができました。子どもたちは実際に募金の協力をお願いすることや、それに応えてくださることの喜びを実体験し、笑顔で表現していました。

多くの皆さまのご協力により、**785,469円**のご寄付をいただきました。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



ジョイフルクリスマス会 2024

2024年12月8日(日)奈良YMCA体育館にて「奈良YMCAジョイフルクリスマス会」を開催いたしました。

対象はワイズメンズクラブ・賛助会員・維持会員・職員、講師のみなさま・ご家族・ボランティアリーダーで、大人40名、子ども8名、合計48名の方々にご参加いただきました。

第一部は、～聖夜～としまして、平松麻那先生(日本キリスト教団奈良教会主任教師)よりクリスマスメッセージの奨励を頂きました。第二部は、～祝会～としましてYMCAクッキング交流会として、カレーパーティーを実施致しました。カレーパーティーでは5グループに分かれ、A:キーマカレー B:ビーフカレー C:チキンカレー D:シーフードカレー E:グリーンカレーを各グループで作りました。作っている時もたくさんの笑顔と出来上がった時も美味しいと笑顔があふれ、更に絆が深まったと思います。

豪華景品くじ引き大会も行い、大盛り上がりで行われました。



こども園に移行して～1年を振り返って～

ふくい かおり
YMCAならこども園 園長 福井 香

昨年令和6年4月に保育園から幼保連携型認定こども園に移行しました。スタートした4月は0歳児クラスの人数や教育部分の子どもたちの入園が満たされてはいませんでした。神様がお与えくださった余裕が持てる環境は、子どもたちと丁寧に向き合う機会だと思い保育を実施できたことに感謝しています。職員の人数も4、5歳児は園児数に合わせて一人担任制の体制をとりました。保育教諭の働き方も社会情勢と同じように多種多様な形へと変化しつつあり、フルタイムで働ける保育者に限りもでてきていることも一人担任制にした要因の一つです。縦横の関係性を園全体で大切にし、チームとして保育を作り上げていく形を組織として強化してきました。フリー保育教諭を必要な子どもへの援助や時間などに配置し、様々な専門性のある職員が保育を一緒にすることも大切にしてきました。子どもたちも保育教諭も調理職員、事務職員、管理職も一緒に生活を送ることで、たくさんの大人に愛され見守られる環境を大切にできました。次年度は、定員以上の子どもたちと一緒にスタートします。子どもたちや保護者が安心できるだけでなく、職員も安心して働ける職場になるように人的環境を大切に職場作りにも力を入れていきます。次年度も引き続きチームワークを大切にしていきたいと思えます。こども園2年目は、運動会も近隣の伏見小学校の体育館で実施予定、京都YMCAリトリートセンターへのお泊りキャンプ、卒園式は本館の体育館で実施予定です。地域、奈良YMCAとの繋がり、様々なYMCAと交流、ワクワクする！豊かさの中で成長できる保育を目指します。



Amazon みんなでサンタクロース キャンペーン報告



2024年度もたくさんの方がサンタクロースとなって多くのプレゼントがとどきました。子どもたちの笑顔があふれました。ご支援いただきましてありがとうございました。



現在は...

新生活を「みんなで応援」キャンペーンを展開中です。

amazon



QRコード



奈良 YMCA ほしいものリスト例

放課後等デイサービスや保育園で必要な、レゴ、さんすうゲームなどをリストに入れてあります。

このキャンペーンは、全国のYMCAでも展開しています。YMCAは全国300カ所を超える拠点で、保育園やアフタースクール、発達支援事業、日本語学校などを展開しています。多くの子どもたち、若者たちが安心して過ごすことのできる環境で期待や夢を持って新しい一歩が踏み出せますようご協力よろしくお願いいたします。

一般社団法人日本宝くじ協会助成テント

一般社団法人日本宝くじ協会より
集会用テントと宿泊用テントの助成をいただきました。
集会用テントは酷暑の中活動する子どもたちの日よけとして活躍し、宿泊用テントは野外活動時など高学年の子どもたちがみんなで協力しながら設営などできました。

ありがとうございました。



総主事通信

～ 2024 年度を振り返って～

総主事 うえじ のぶちか
上地 信親

2024年度の年間基本聖句は、「愛を身につけなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。」(コロサイの信徒への手紙3章14節)でした。そして全体方針として『未来ある子どもたちの育ちを支えます』、『ポジティブネットのある豊かな社会実現のために、「人」と「人」とのつながりの希薄化解消に向けて活動します』を掲げ様々な運動や活動を実施してきました。社会福祉法人が設立10周年を迎え、公益財団法人、社会福祉法人が一体となって奈良YMCA運動を強め、新たな10年に向けて関係を深化させていくことの大切さを再認識しました。この1年、職員間のコミュニケーションを密にし、様々な行事を協働で実施することが出来ました。それぞれの立場や意見を大切にすることが、会員の方の事を自分事として大切に思う気持ちにつながってくると思います。また、今年度から「奈良市子育て広場」の運営委託を開始し、大変好評を得ており、両法人のつながりや地域とのつながりの大切なツールとなっています。

2025年度は近年取り組めていなかった世界のYMCAとのつながりを築いていく土台を創っていくとともに、施設老朽化という喫緊の課題に期限を決めて取り組んでまいります。1年間ご支援頂きありがとうございました。2025年度もより引続きよろしくお願いいたします。

維持会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2025年1月～3月現在・敬称略

【維持会員】

高橋 文子、辻 亮、山本 薫

2025年度会費のお願いを郵送しています。
引き続き、ご支援よろしくお願いいたします。

奈良 YMCA の活動情報など是非ご覧ください！



公益財団法人 HP



社会福祉法人 HP



各プログラム
Facebook 一覧



公益財団法人
Instagram



社会福祉法人
Instagram